

経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県 大井町

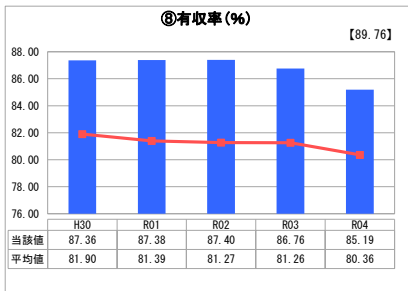
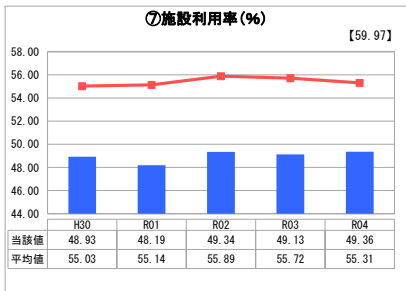
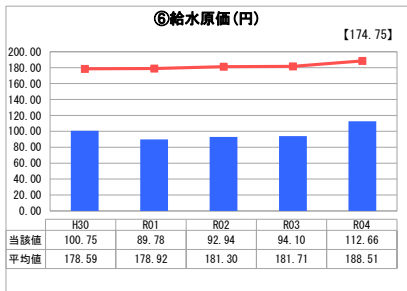
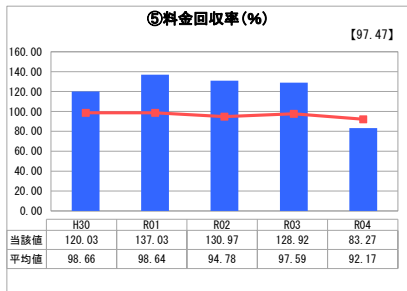
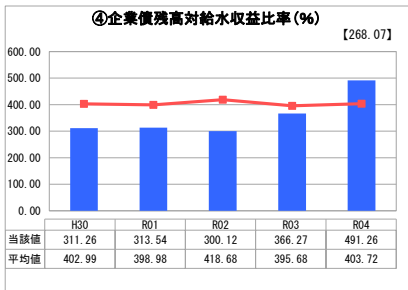
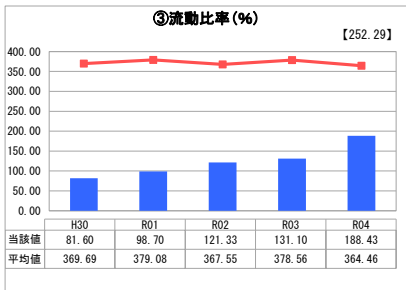
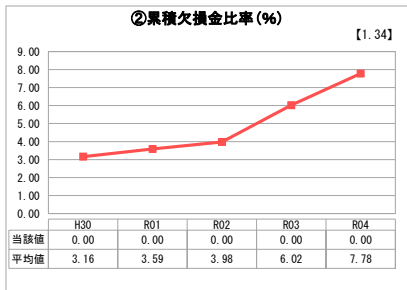
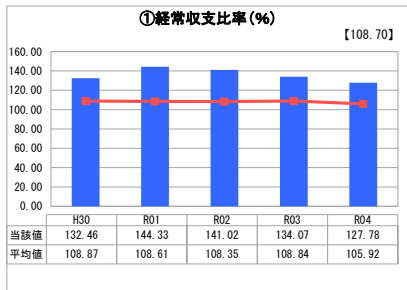
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	68.17	99.93	2,183	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,363	14.38	1,207.44
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,407	14.38	1,210.50

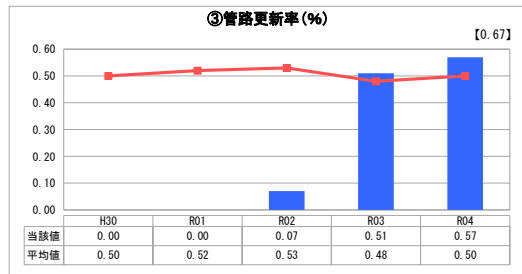
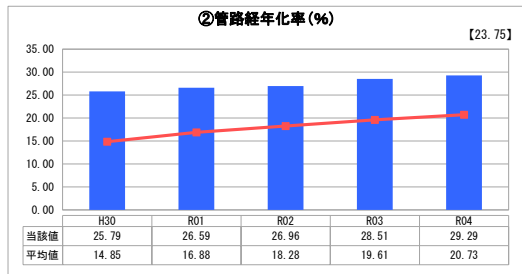
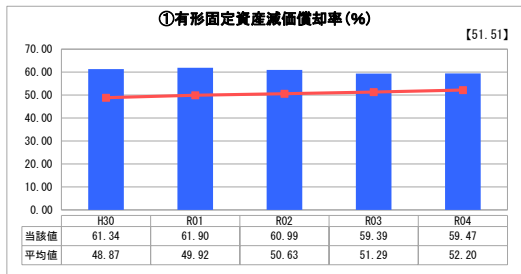
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を超えており、累積欠損金比率が0%であるため、黒字経営を維持できておりますが、経常収支比率が減少傾向となっております。流動比率は100%を超え、年々増加しておりますが、類似団体平均値に比べて低い水準にあります。企業債残高対給水収益比率が増加し、類似団体平均値を上回るとともに、給水原価が100%を下回り、類似団体平均値よりも低い結果となっております。これらの主な変動要因としては、令和4年8月調定分から令和5年3月調定分まで基本料金の減免を行ったことによるものであり、基本料金の減免を行わなかった場合は類似団体平均値より良い結果となります。

給水原価が大幅に増加しておりますが、こちらにつきましては委託費や動力費の増加及び基本料金減免等に伴う雑支出の増加によるものです。有収率は類似団体平均値に比べて高い水準となっておりますが、前年度に比して有収率が減少しているため、漏水調査等を継続し、有収率の向上を図るとともに、施設利用率が50%を下回っていることから、施設利用率向上について検討して参ります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が前年度に比して微増しているとともに、類似団体平均値に比べて高く、老朽化が確実に進行しています。また、管路経年化率は増加傾向にあり、管路更新率は類似団体平均値を上回っていますが、経年化率の増加を食い止めることができていません。引続き施設及び管路の更新を進め、有形固定資産減価償却率及び管路経年化率の改善に努めます。

全体総括

経常収支比率が類似団体平均値に比べて高くなっていますが、流動比率の低さや老朽化の進行度合いから、災害に対する備えや突発的な費用の発生に対する備えが不足している状況です。

今後も効率的な経営に努めるとともに、着実な設備更新を進め、災害等不測の事態に備えつつ、安定的に水を供給できる体制を整えて参ります。